

2022年2月17日

杭州 2022 アジアパラ競技大会  
水泳競技日本代表推薦選手選考方針と基準について

(一社) 日本パラ水泳連盟  
(一社) 日本知的障害者水泳連盟

日本代表推薦方針

水泳競技日本代表選手団は、日本パラリンピック委員会（以下「JPC」という）の定める選手団編成方針に基づいて、日本代表に相応しい選手であって、パリ 2024 年、ロス 2028 年など今後のパラリンピックにつながる選手を推薦する。

推薦選考基準

この基準は、知的・身体あわせて、日本代表推薦選手としての選考基準である

1. 杭州 2022 アジアパラゲームズ水泳競技大会の参加基準及び JPC が定める日本代表選手団の選手選考基準を満たし、当該連盟が定めた推薦基準を満たすもの  
注意：2022年2月17日現在、日本選手団編成方針はでないため、今後更新する場合があります

2. 推薦基準

- (1) 2022年 IPC ライセンス登録がなされていること
- (2) 2021年1月1日以降の WPS 公認大会にて最低資格基準(MQS)を突破していること。ただし、達成した時点でその年に有効な IPC ライセンス登録がなされていること
- (3) 国際クラス分けのステイタスが「Review」(R)、又は「Confirmed」(C)、又は「Fixed Dater Review」(FDR)、の者
- (4) 2022年3月5日から6日開催のパラ水泳春季記録会の記録を選考の対象記録とする。その他の大会等の記録の扱いは連盟ごとに定める
- (5) マデイラ 2022 世界選手権派遣基準記録を突破し、その代表に選考された選手は「推薦内定選手」とする。ただし、リレー代表は除く
- (6) JPC の定める自己管理や医学的観点を満たせるもの、並びに当該連盟の定める強化指定選手等行動規範を遵守できる選手であること
- (7) 推薦選手としての正式決定の時期は、JPC 日本代表選手団編成方針等の公表後に決定し、各連盟のホームページで発表する

以上

2022年2月20日

杭州 2022 アジアパラ競技大会  
水泳競技日本代表推薦選手選考独自基準について

(一社) 日本知的障害者水泳連盟

(一社) 日本知的障害者水泳連盟及び (一社) 日本パラ水泳連盟の統一基準に加えて当連盟の独自基準は次のとおりである

1. 推薦独自基準

- (1) 表記大会はロス 2028、ブリスベン 2032 を見据え、次世代を担う若手選手の育成機会を兼ねる
- (2) WPS が公表するアジアランキング (2021 年 1 月 1 日～2022 年 3 月 5・6 日に行われる 2020 パラ水泳春季記録会の記録が反映された時点) を基に、各種目上位 3 名を選考対象とする。なお、ランキングに記載されている各国選手の最速記録のみ採用する
- (3) (2) で選考対象とした選手に優先順位をつける。優先順位は各種目ランキングが上位の選手から順に順位づけをする。
- (4) (3) の選手の中で同順位であった場合、2 種目目以降のランキングが上位の選手から順位づけをする
- (5) 選考に前後して必要な準備と日程  
推薦選手が決定される前後に、対象となる選手は準備としてアジアパラリンピック委員会 (APC)、JPC、連盟に対して様々な手続きが必要である。概ねその時期や、提出書類及びその対象選手は下記に示す通りである。手続きに必要な書類を理由なく期限までに提出しない選手は、選考を辞退したものととして取扱う。

2021 年 12 月

- ① 2022 年の国際ライセンス登録

2022 年 4-5 月

- ① アクレ申請手続き (時期未定)
- ② 健康診断書の提出
- ③ アジアパラでの国際クラス分け TSAL の提出 (対象選手には別途連絡する)
- ④ エントリー種目等調査

2022 年 6 月以降

- ① 推薦選手の決定（6 月下旬）
- ② エントリー締切（時期未定）
- ③ ユニフォーム採寸等手続き（時期未定）

2022 年 7 月以降

- ① 派遣選手の決定（時期未定）

（6）上記に該当しない事案が発生した場合は、別途「杭州アジアパラゲームス水泳 競技準備役員」にて検討する。

別添 1) アジアパラ参加要件

別添 1)

#### 杭州 2022 アジアパラ参加要件

選手が NPC により選考されるためには、選手が満たしていない要件は以下の通り。

- 2022 シーズンの WPS 選手ライセンスを登録済であること
- 2021 年 1 月 1 日より 2022 年 7 月 8 日の間に開催の WPS 公認の長水路競技会において MQS を突破していること。記録樹立時にライセンス登録済であること、または世界ランキング表に記載されている同距離 & 種目の世界記録またはリージョン（地域）記録での認定スプリットタイムであること。
- 2021-2022 シーズンに有効な選手ライセンスと MQS を突破していること
- 国際クラスがあり、そのステイタスが R、C、または FDR であること
- リレー種目のみ出場する選手を各国チーム 1 名まで（MQS 突破をしていなくても）チームに追加できる。（その場合その選手はリレー以外の種目には出場できない。）—その場合は、LOC か APC へ連絡すること。リレー限定選手 1 名を決勝では別のリレー種目にエントリーさせることができる。